

## (2) プログラムデザイン

### 【ステージについて】

全体のねらい達成に向け、キャンプを5つのステージに分け、ステージごとのねらい、活動のポイント、スタッフのかかわり方について明確にし、キャンプを実施した。

日程	ステージ	ステージのねらい	活動のポイント	スタッフのかかわり方
事前キャンプ1日目 7/9 (土)	【ファースト】 出会い	本キャンプに向けて、新しい仲間とともに協力して取り組んでいこうとする意欲をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本キャンプに向けて、必要な心構えや道具の準備を自分なりに考える。</li> <li>初めて出会う仲間と様々な活動に進んで取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちの緊張をほぐすために、笑顔で接し、明るく元気に前向きな態度で接する。</li> <li>基本的な生活習慣(早寝早起き朝ごはん)や挨拶、正しい言葉遣い、整理整頓などについて指導し、意識付けを行う。</li> <li>個人の特徴(人とかかわり方などの性格)をつかみ、記録を取る。</li> </ul>
事前キャンプ2日目 7/10 (日)				
本キャンプ1日目 8/6 (土)	【セカンド】 獲得	グループメンバーの個性を知るとともに、野外炊事等のキャンプに必要な基礎知識や技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な活動をとおり、自分の得意なこと(長所)や仲間の得意なことに気付く。</li> <li>チームの仲間を助けたり、助けられたりすることで仲間のよさに気付く。</li> <li>キャンプ生活に必要な様々な知識、技術を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人とグループの特徴をつかみ、記録を取る。</li> <li>野外炊事などのキャンプ生活に必要な基礎知識や技術を伝え、手本となる。</li> <li>個々の緊張を和らげ、チーム内でお互いのかかわりが生まれるようにする。</li> </ul>
本キャンプ2日目 8/7 (日)				
本キャンプ3日目 8/8 (月)				
本キャンプ4日目 8/9 (火)	【サード】 グループ	身に付けた基礎知識や技能を生かし、「グループキャンプタイム」で合意形成を図りながら仲間と協働しすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの中での自分の役割を理解し、その役割を果たす。</li> <li>助けが必要な場面で適切に仲間を支え、互いに協力して活動に取り組む。</li> <li>チームの仲間の励ましや助けが、「グループキャンプタイム」を充実させていることを実感する。また、やり抜いた自分の頑張りに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の体力的な様子に目を配り、体調の変化の把握に努める。</li> <li>子供たちの挑戦を積極的に励まし、認め、一人一人の意欲を高める。</li> <li>子供たちの人間関係について実態把握し、スタッフ間の連絡を密にして支援する。</li> </ul>
本キャンプ5日目 8/10 (水)				
本キャンプ6日目 8/11 (木)	【フォース】 成長	キャンプの中で、できるようになったこと・意識したことを整理し、言葉でまとめることで自身の成長を実感する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身の状態を考え、自分に適した登山コースを選択する。</li> <li>日々のふりかえりを活用し、自身の成長を実感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山ルートでは、安全の確保は徹底するが、直接的な手助けは行わず、仲間同士での助け合いを見守る。</li> <li>キャンプスタート時の頃の自分を想起させ、やり抜いたことに対する自信を持たせる。</li> </ul>
本キャンプ7日目 8/12 (金)				
本キャンプ8日目 8/13 (土)				
事後キャンプ1日目 9/17 (土)	【ファイナル】 旅立ち	全日程をやり遂げたという達成感を味わい、これまでの自分と今の自分の変化や成長を見つめ、今後の自分の生き方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの仲間と過ごした日々をふりかえり、自分の意見をもち発言すること、他者の意見を傾聴することの大切さを確かめる。</li> <li>最後までやり抜いた自分を見つめ、成長を実感し、これからの生活に生かしていこうという気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプを通して学んだことを、今後の人生にどのように生かしていきたいか、しっかりと考えさせる機会を充実させる。</li> <li>これからも、何事にも自信を持って取り組むよう言葉をかける。</li> </ul>
事後キャンプ2日目 9/18 (日)				

## (3) 安全対策

### ① 熱中症対策

- グループごとの屋外での活動時は、班付きボランティアをタイムキーパーとして適宜、木陰等で休憩をとるようにした。
- 塩分補給のタブレットを小袋に小分けして参加者に配布した。こまめに補給するよう声かけを徹底した。
- 首元を冷やすスカーフを参加費で購入し配布した。
- WBGT 測定をこまめに行い、「警戒」「厳重警戒」を示している時は、水分補給・塩分補給・木陰で休憩をする声かけを徹底した。
- 緊急の避難所として冷房で冷やした部屋を1室確保した。

### ② 新型コロナウイルス感染症対策

- 「国立赤城青少年交流の家における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン (Ver.10)」(事前キャンプ実施時点のガイドライン) を基に実施した。  
(国立赤城青少年交流の家 HP 参照)
- 事前に参加者・スタッフに参加2週間から体温や健康管理を行わせ、健康管理票を提出させた。
- 日程内の検温について、朝夕食前の検温を基本として毎日記入を行った。  
※事後キャンプでは、個人用携帯アルコール消毒スプレーを配布。また、非接触でない体温計を持参させた。
- 宿泊室は、4人部屋を2人1部屋で実施した。テント泊では1人1張を準備した。  
※事後キャンプでは、1人1部屋で実施。

### ③ 登山時の安全対策

- 複数のコースを設定し、実地踏査を行った。小学校高学年の体力に即した登山プログラムを構成した。
- ボランティア研修キャンプで、職員とボランティアで登山時の注意点を実地踏査を行い確認した。
- 参加者とスタッフ全員で、事前キャンプ、本キャンプの登山前にコースや注意点を確認する「登山MT(ミーティング)」を設定した。
- 実施体制や緊急の対応(フローチャートの設定、エスケープコースの設定)し、スタッフの動きが共有されるようにした。
- 事後キャンプの登山では、事前に登山経路及び危険箇所をボランティアに送付し、安全管理について共有を図った。